

1 どういう性格・パーソナリティか

型	性格の側面		弱	強	指数
思索型	内閉性	社交意識が低い	■■■■■■■■■■		48
	客観性	思考的思慮深い	■■■■■■■■■■		50
活動型	身体性	機敏な・気軽な	■■■■■■■■■■		54
	気分性	感情のまま行動	■■■■■■■■■■		54
努力型	持続性	几帳面・忍耐力	■■■■■■■■■■		66
	規則性	常識的・順法的	■■■■■■■■■■		66
積極型	競争性	勝気な・積極的	■■■■■■■■■■		44
	自尊心	気ぐらいが高い	■■■■■■■■■■		45
自制型	慎重性	見通しをつける	■■■■■■■■■■		61
	弱気さ	取越苦労・遠慮	■■■■■■■■■■		49

■この人の中心性格は「努力・持続性」および「努力・規則性」であるが、「自制・慎重性」や「活動・身体性」といった側面も本人は意識している。

●「努力・持続性」及び「努力・規則性」の人のパーソナリティスケッチ
 コツコツと几帳面な人。生活ぶりもキチンとしていて、丹念な仕事ぶりである。スタート・ダッシュはそれほどではないが、息切れがせずいつまでも走りつづける長距離ランナー型でもある。徹底性もみられ、それがときにははしつこさに映じることもある。
 世間のきまりや常識を大切に、ものごとの判断は杓子定規になりがちである。聖物との印象があり、その意見やアイデアは手堅いものの斬新さや柔軟さに欠けるきらいがある。大きな失敗をしないことがこの人の取り柄といえる。

●もう一方の性格特性
 人に負けたくないというピリピリした競争心がなく、むしろ他人には寛容な性格である。目立つより人と協調していこうとする心やさしいところがある。実力を誇示し、自分を認めさせようとして「オレがオレが」ということがなく、控えめである。

2 どういう関心事・興味領域を持っているか

興味の方向性	弱	強	指数
日常周辺事型	■■■■■■■■■■		33
客観・科学型	■■■■■■■■■■		70
社会・経済型	■■■■■■■■■■		38
心理・情緒型	■■■■■■■■■■		43
審美・芸術型	■■■■■■■■■■		66

俗世間的な事に興味がない。しきたりなどは気にしない。
 物事を分析的に考える、又はそのまま事実のみ捕らえる。
 世の中の動きなどに興味がなく、世間知らずな面もある。
 芸術的関心が高く、世界を美的観点でとらえようとする。

信頼係数



回答に多少あいまいなところもあるが、およその部分が信頼できる診断結果である。

3 基礎的な職場場面での社会性

診断項目	弱	強	指数
積極性	■■■■■■■■■■		59
協調性	■■■■■■■■■■		65
責任感	■■■■■■■■■■		55
自己信頼性	■■■■■■■■■■		63
指導性	■■■■■■■■■■		62
共感性	■■■■■■■■■■		55
感情安定性	■■■■■■■■■■		61
従順性	■■■■■■■■■■		65
自主性	■■■■■■■■■■		39
モトリアム傾向	■■■■■■■■■■		47

仲間と一緒に考え、協力して目標に向かうことができる。

自分の意思や行動に自信があり、周囲からも信頼される。皆から頼りにされ、意見や行動をまとめていこうとする。

多少の事で動揺したりせず、気持ちにムラが少なく安定。反抗的なところは少なく、人の意見や指導に素直である。指示をまって動くほうだが、大任であるとおおおろする。

4 どういうことに意欲・ヤル気をだすか

意欲の側面	弱	強	指数
達成欲求	■■■■■■■■■■		68
自律欲求	■■■■■■■■■■		46
求知欲求	■■■■■■■■■■		47
危機耐性	■■■■■■■■■■		72
勤勞意欲	■■■■■■■■■■		64
顕示欲求	■■■■■■■■■■		46
支配欲求	■■■■■■■■■■		56
親和欲求	■■■■■■■■■■		48
秩序欲求	■■■■■■■■■■		61
物質的欲望	■■■■■■■■■■		61

困難な目標にも努力し、常に自分を向上させようとする。

逆境に耐え、苦しいときも我慢よくやり抜こうとする。仕事への意欲があり、生きがいの部分として考えている。

自己範囲内の環境や物事は、キチンと整理しておきたい。モノを獲得し保持したい、失いたくないなど物欲がある。

■この人は「苦勞を乗り越え、成長したい」系統の欲求群が一番強く、ついで「増やしたい、減らしたくない」系統の欲求群となっている。逆に「人より優位に立ちたい」系統の欲求群には淡泊な反応である。